

## 4. 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)

平成 20 年度の二酸化硫黄の有効測定局数は、1,243 局（一般局：1,171 局、自排局：72 局）であった。

長期的評価による環境基準達成率は、一般局で 1,169 局（99.8%）、自排局で 72 局（100%）と良好な状況が続いている（図 4 - 1）。

環境基準非達成については、資料 8 のとおり、鹿児島での測定結果であり、桜島の噴煙等の自然要因によるものと考えられる。

年平均値は、昭和 40、50 年代に比べ著しく改善し、近年は一般局、自排局ともほぼ横ばい傾向にある（図 4 - 2）。

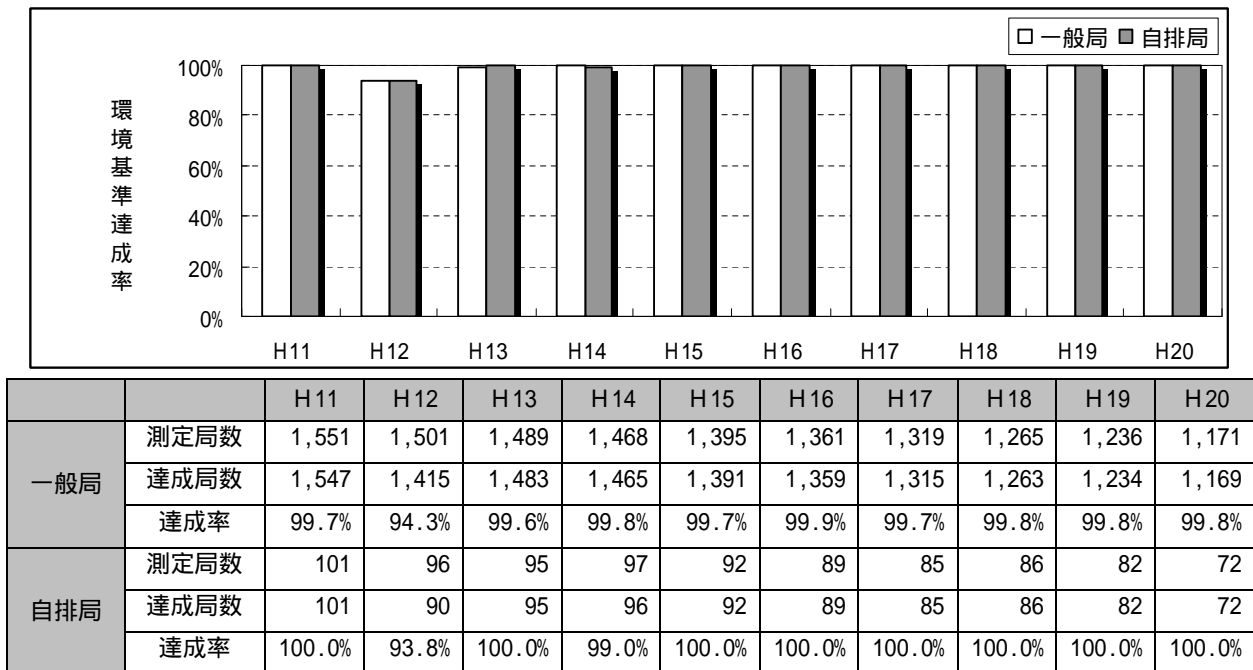


図 4 - 1 二酸化硫黄の環境基準達成率の推移

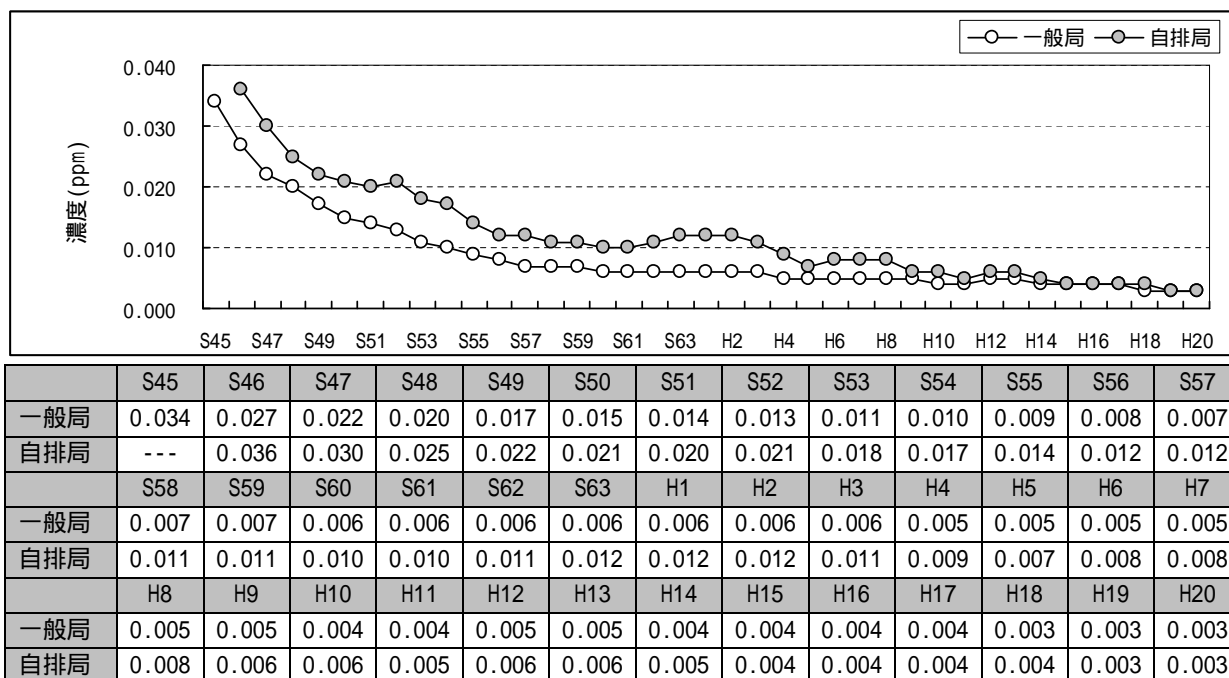


図 4 - 2 二酸化硫黄濃度の年平均値の推移